



2006年国勢調査に予定されている変更

5年ごとに実施される国勢調査の目的は、オーストラリア統計局(ABS)が取り掛かる最大の統計収集です。国勢調査では、国勢調査実施の晩のオーストラリアの人口、その主要な特徴、および住居を正確に測定することです。オーストラリアの次回の第15回国勢調査は、2006年8月8日に実施される予定です。

国勢調査は、政府、地域社会の組織および事業部門が効果的なオーストラリアの将来計画を立てるにあたり不可欠となるさまざまな情報を提供します。収集された情報を使用して、地元のコミュニティー・センター、老人ホーム、学校、およびSBSでの放送時間に対する資金割り当てなどのサービス提供の計画が立てられるので、これは英語を母国語としない人達にとってとりわけ重要です。

2006年の国勢調査に向けて、以下を含む多数の変更が提案されています。

- 障害者、ボランティア、無給の作業など、現在の政策に関する問題を反映するすいくつかの新しい質問
- 2006年の国勢調査の際、Webサイトを介して情報を記入する選択肢を提供すること

ABSではまた、2006年の国勢調査で収集する情報に価値を付加する新しい構想を提案しています。この提案内容の詳細を説明する文書は、ABSのWebサイト <www.abs.gov.au>にあります。

この提案の最も重要な特徴は、縦断的国勢調査データセット(Statistical Longitudinal Census Dataset:SLCD)を作成することです。このためには、2006年の国勢調査で提供される情報を他の国勢調査で提供される情報と組み合わせる必要があります。SLCDにより、統計目的に利用できる情報の範囲が拡大し、ある期間にわたる個人と世帯の社会的および経済的状況の変更パターンを識別する方法が提供されます。

この提案には、ABSが国勢調査で収集した名前と住所に関する情報を保持することは含まれていません。過去の国勢調査と同様に、国勢調査の処理が完了した後、ABSは名前と住所を含む記録をすべて破棄します。

国勢調査プログラムの主任であるポール・ウィリアムス氏によれば、「ABSでは、これを将来に向けての重要な投資と見なしています。これによって、オーストラリア社会に関するさらに十分な情報が提供され、政策開発と地域社会に関する意思決定が改善する可能性があります。」ということです。

「オーストラリア国民の利益のために、5年ごとの国勢調査で収集される充実した多量の情報をさらに最大限まで活用できるようになります。」と同氏は述べています。

「この提案に関して、まだ何も決定は行われていません。**ABS**は、オーストラリア社会で受け入れられる場合にのみ、この提案を続行します。」と同氏は語りました。

ABSでは、一般大衆およびその他の関係当事者に、この提案に関する意見を提出するよう奨励しています。意見は、**ABS**のWebサイトを通じてオンラインで提出できます。あるいは、**ABS**まで電話(1300 135 070)で連絡することにより、意見記入用紙を入手できます。意見提出の締め切りは、**2005年6月10日**です。